

千年の読書

人生を変える本との出会い

千年の読書

人生を変える本との出会い

One Thousand Years of Reading

Encounters with
Life-Changing Books

Yoshiaki Misago



三砂慶明

本棚の前でお客様と話すうちにわかったことが二つありました。
どれほど恵まれた人生を歩んでいるように見える人でも

「避難所」が必要であること。

そして、本は困難と向きあった人に
新しい扉を開いてくれる、ということでした。

(「まえがき」より)

書店員による読書エッセイ

読書を愛する人は、
本について語り合おうのも大好きだ。
三砂さんと一緒に喫茶店に行き、
いろんな話をしたくなった。

佐渡島庸平

株式会社コルク代表取締役

本と実人生は、こんなにも近い。
ひりひりするような
切実と熱に驚かされた。

平松洋子

エッセイスト

三砂さんの読書遍歴と
思考を辿りながら、
みるみると自分の生きるこの瞬間が
愛おしくなりました。
輝く命の連なりのなかで、
僕も本を読み、言葉をつづりたい。
そういう思いでいっぱいです。

後藤正文

ミュージシャン

なぜ人生には本が必要なのか。

人生の岐路にちょうど、びつたりの本と出会えるのは、本当に偶然なのか。

千年前から、人が本を読む喜びは変わらない。

本に人生を何度も助けられてきた書店員が綴る読書エッセイ。